

はら

福山市民病院広報誌

特集

- 第13回ドクター及び
メディカルスタッフ
体験セミナー
- 2024年度地域医療
連携のつどいを開催
しました



福山市民病院理念

質の高い安全な医療を通じて「安心と生きる力とやすらぎ」を
地域に提供するとともに、こころ豊かな医療人を育成する

地域医療支援病院

地域がん診療
連携拠点病院

救命救急センター

肝炎患診療
連携拠点病院

災害拠点病院

臨床研修病院

緩和ケア病棟
承認施設

第二種感染症
指定医療機関

DPC 特定病院群

がんゲノム医療
連携病院

小児救急医療
拠点病院

紹介受診重点
医療機関

巻頭言

これからの周産期医療 提供体制について

2024年(令和6年)5月30日、厚生労働省は全国の分娩を取り扱う施設(病院・診療所・助産所)の特色・サービスや費用についての情報提供を行うウェブサイトを「出産ナビ」^①を開設しました。このサイトには、全国の分娩を取り扱うほぼ全ての施設(約2,000)について、所在地、

外来受付時間、医師数や年間分娩件数といった基礎情報に加え、助産ケアや付帯サービスの実施の有無、分娩にかかる費用の目安などの詳細な情報が施設ごとに掲載してあります。「出産ナビ」は地域や施設によって差が大きい出産費用やサービスを、見える化したウェブサイトであり、妊婦さんと家族が出産場所を選ぶための有用な情報が掲載されています。

では、私たちの暮らす福山・府中圏域の分娩取り扱い施設の情報はどうでしょう。出産施設を病院・有床診療所・助産所で検索すると、福山市では6施設の情報が表示されました。さらに、県境を越えた井原市、笠岡市など岡山県西部地域を検索すると、笠岡市の助産所1施設のみ表示されました。井原市と笠岡市併せて8万人を超える人口規模の地域に、分娩取り扱い病院・有床診療所が存在しないという現状です。

備後圏域7市2町の分娩取り扱い施設は減少してきており、分娩や妊婦健診を行う医療施設が存在しない地域があることや、一部のハイリスク妊婦や新生児は生活圏内で医療を完結することができないなど、周産期医療提供体制の再構築が求められています。ここでは、医療資源の減少からくる、この圏域の周産期医療提供体制の課題と連携について述べていきます。

【備後圏域の周産期医療提供体制の課題】

当院の広報誌「ばら」vol.113に、当院産婦人科科长(当時)の早田桂

医師が寄稿された「周産期医療について」の中に、次のような一文があります。

『広島県内の分娩取扱施設数は、2006年(平成18年)の76施設から、2022年(令和4年)4月1日時点では44施設へ減少しています。診療所は42施設から22施設、病院も25施設から12施設へ半減、一方周産期母子医療センターは9施設から10施設へ、1施設増えています。診療所では医師の高齢化による閉院、病院では医師等の確保が困難なことが分娩休止の主な理由となります。さらに福山市内ではこの統計後新たに診療所2施設が分娩休止となり、現在あわせて6施設で福山・府中圏域の分娩を維持していますが、近隣の府中市、神石高原町、岡山県井原市は既に分娩施設がなく、さらに笠岡市の診療所も年内で閉院が決定しているため、それぞれの分娩取扱施設では今後も分娩希望

者数の増加が起こり、マンパワーとの兼ね合いが喫緊の課題となっています。』(抜粋)

これまで妊娠が分かれば赤ちゃんを産む出産場所を決め、そこで定期的な健診を続けて出産を迎えるという流れであったと思います。しかし、地域から分娩を取り扱う医療施設がなくなれば、妊婦さんは自宅から離れた地域で出産しなければならず、それ以上に、健診のため何度も通院しなければならぬという問題が出てきます。この問題に対応するために、妊娠の異常や合併症などのないハイリスク妊婦の場合は、健診は近くの医療施設で受け、分娩は専門的態勢の整った病院で行う、という新しいスタイルがあります。

これを「セミオープンシステム」と呼びますが、欧米では以前から一般的な健診、分娩のスタイルとして定着しています。



看護部長

内田 朋子

「ばら」118号 CONTENTS

2 巻頭言

特集

- 4 第13回ドクター及び
メディカルスタッフ体験セミナー
- 10 地域医療連携のつどいを
開催しました
- 13 あの人はいま(初期研修医編Part2)
- 14 放射線治療について
- 15 『がん相談支援センター』が
力になります
- 16 『日本胎児心臓病学会第31回学術集会』
開催準備報告 (第3報)
- 17 福山市民病院の
増改築事業における寄附のお願い
- 18 オープンカンファレンス

連載

- 20 第57回 歯っと思ったこと
- 21 第13回 小児科ミニコラム
- 24 第3回 新生児医療について
- 26 第3回 看護部研修だより
- 28 院内保育施設「ひまわり」
- 29 ニュース
- 30 皮膚科外来の飾りつけ紹介
- 30 研修医日記、管理者室より、
外来診療担当表等(QRコード)
- 31 ホスピス緩和ケア週間のお知らせ
- 32 医療費連帯保証人代行制度を
導入します

[表紙写真について]

第13回 ドクター及びメディカルスタッフ体験
セミナーの写真です。

【周産期医療連携

(産科セミオープンシステムについて)
妊婦健診は近くの分娩を取り扱っていない医療施設で受け、分娩は病院や周産期母子医療センターで行うことにより、妊婦の利便性を保ちながら、それぞれの医療機関の特性や機能を有効に発揮させるシステムです。2024年(令和6年)3月、井原市民病院と福山市民病院ではこのシステムを活用し、井原市民病院で行い、妊娠後期の健診や分娩管理、また夜間休日の診療や救急対応は、当院を受診していただく。そして、最終の分娩管理は当院で行うよう、母子に安全な医療を受けていただく連携を進めています。(図参照)

また同年5月には、笠岡市で唯一分娩を取り扱っている助産所の嘱託医療機関として連携をはじめており、母児の安全確保を進めているところです。

【これからに向けて】

少子高齢化や、限られた医療施設・設備・人材など、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。当院では、助産師が産科医師と役割分担をし、妊産婦、産褥婦とその家族の意向を尊重しながら、健康診査や保健指導を行うという「助産師外来」の開設も目指しています。さらに、派遣など助産師のさらなる活用を目指しています。

これらを、2026年(令和8年)の周産期母子医療センター

の開設に向け、当院の機能強化の一環として取り組んでいくことで地域における周産期医療体制の維持・強化を目指していく必要があると考えています。

(1) 厚生労働省：「出産ナビ」へ
ようこそ <https://www.mhiw.go.jp/stf/birth-navi/index.html>



産科セミオープンシステムによる周産期医療連携

産科セミオープンシステム：妊婦健診は近くの医療施設、分娩は病院や周産期母子医療センターで行う

- 普段の妊婦健診は、かかりつけ医療施設の産科で都合に合わせて受けられる
- 自宅に近い施設で健診を受けられるため、通院時間や待ち時間が少ない
- 妊娠中に急な異常が起こった際は、いつでも分娩予定の専門病院で対応や入院ができる
- 分娩は設備やスタッフなどの強みが集った専門病院で管理をする

地域のかかりつけ病院・診療所



連携



施設の妊婦健診



夜間・休日の緊急時
助産師有資格スクリーニング
妊娠34週～分娩

特集

第13回

ドクター及び メディカルスタッフ体験セミナー

5年ぶりに高校生を対象とした第13回ドクター及び
メディカルスタッフ体験セミナーを開催しました！



M.D(未来のドクター)たちとともに 2024年7月28日(日)

第13回ドクター及びメディカルスタッフ体験セミナー あいさつ

令和6年7月28日、令和元年以来5年ぶりの「第13回 高校生ドクター及びメディカルスタッフ体験セミナー」を開催しました！！コロナ禍で毎年開催を模索しつつも見送らざるを得なかった5年間で薄れた記憶を皆で復元し、待ちに待った開催となりました。

コロナ禍で高まった医療需要の影響もあってか、参加募集40名のところ、なんと226名の高校生にご応募いただきました。対応可能人数に限界があり、最終的には47名に体験いただきました(参加いただけなかった皆さん、申し訳ございません)。

このセミナーは、医療職に興味を持つ高校生を当院にお迎えし、具体的な医療を体験していただくことで、進路実現への推進力となることを目標としています。病院スタッフは史上最多の総勢70名、充実のスタッフと情熱でお迎えしました。午前中は内科系プログラム(内視鏡・エコー・放射線)、昼食は研修医によるランチョンセミナー、午後は院内探検(手術室・災害派遣医療チーム)から専門職プログラム、最後に救急蘇生講習を体験していただきました。久々のセミナーに、全てのプログラムで猛暑の外気に負けない熱量となり、熱中症も懸念されましたが、無事5時間超のセミナーを修了しました。

本セミナーが、暑い暑い青春の大切な一日を、われわれ医療従事者とともに一生懸命に過ごしてくれた高校生の将来の糧となり、何年後かに、同じ医療の現場で働けることを期待しています。

外科 科長 日置 勝義



10:00～ 受付

10:30～ 開会あいさつ・病院紹介

受付の様子



受付を済ませ、
ユニフォームに着替えて
体験セミナースタートです。

開会あいさつ・ 病院紹介



室院長より、当院の概要や
専門分野の仕事内容などについて
紹介していただきました。



10:50～ 内科系プログラム

午前は内科系医師の仕事を体験しました。
「内視鏡操作体験」「エコー検査体験」
「放射線科CT見学」を順番に体験しました。

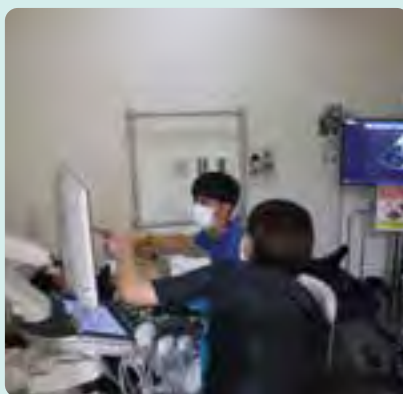
内視鏡操作体験

人体模型を使い、
内視鏡スコープを入れ、
胃の中を映し出します。
医師のアドバイスを受け、
真剣に操作を行いました。



研修医が患者役となり、
心臓エコーや腹部エコーの検査機を
実際に使用しました。

エコー検査体験



放射線科 CT 見学



CT撮影の原理の説明を受け、
CTによる画像解析を見学しました。



12:00～ 昼食・ランチョンセミナー

内科系、外科系それぞれの初期研修医の1日を紹介。

普段はなかなか聞く機会のない医師の話に聞き入り、その後の会話も弾みました。



13:00～ 院内探検

午後は院内の探検からスタート

公用車見学

当院が保有する救急車、DMAT車、ドクターカーの見学や活動紹介、デモンストレーションを行いました。



手術室に関する説明を受け、手術台で患者体験も行いました。緊張から心拍数が上昇する場面も…！

手術室見学

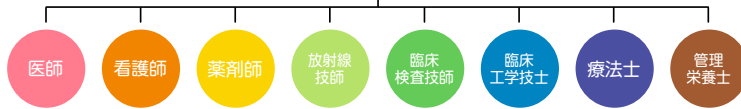




14:00～ 専門分野プログラム

病院では医師や看護師以外にもいろいろな職種のスタッフが働いています。そんな普段はあまり接することのない職種の仕事も実際に体験しました。

専門分野プログラム



医師

午後は外科系の仕事を体験しました。

『結紮(けっさつ)体験』



先生にアドバイスを聞いて結紮にチャレンジ！マンツーマンで教えてもらう貴重な体験です。

『縫合体験』



ほどけないようにしっかり結びます。みんな真剣な表情です。

『ドライボックス体験』



画面を見ながら鉗子を操作。思ったようにいかず、難しい！と声があがりました。

看護師



採血する血管を探しています。



(緊張の)模擬血管から採血体験中です。



心霊体験ってある？質問に応える座談会の様子です。

薬剤師



自作した注射バイアルから薬液を抜いてみました！



軟膏壺に軟膏を入れてみました！



散薬を秤量してみました！

放射線技師



CT装置の動かし方を学んで、自分たちでも動かしてみました。



高精度放射線治療装置の精密なブロックの動きを観察中。



放射線治療で使用する患者固定具の作成体験もしました。

臨床検査技師



胎児超音波診断ファントムを用いて実際にエコーを体験しました。



血液中にはどんな細胞がいる？
血液細胞を顕微鏡で観察しました。



口腔内にある常在菌の説明を受けています。
実際に口の中の菌をグラム染色してもらい観察しました。

臨床工学技士



ECMOを操作してみよう！



人工呼吸器を体験してみよう！



高気圧酸素治療装置に触れてみよう！

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士



3職種それぞれのリハビリの仕事についてお話を聞きました。



起立台を使ってリハビリの体験をしました。



手の検査を体験しました。

管理栄養士



調理室を見学しました。



とろみ粉を使って、お茶にとろみを付ける体験をしました。



高栄養のドリンクとゼリーの試食をしました。



15:10～ AED講習



心肺蘇生法の手順について説明を受けました。
みんな真剣に講師の話聞いています。



医師や看護師のアドバイスを受け、
圧迫の強さやペースキープに気を付けながら
胸骨圧迫を続けます。



全員が胸骨圧迫とAEDを体験しました。
人命を救う手段として、しっかり習得して
ください。



15:50～ 修了証授与式

高倉事業管理者より、
M.D.(未来のドクター)へ将来医療の現場で
活躍してほしいという願いを込めて、
一人ひとりに修了証が手渡されました。



セミナー参加者の声

- 学校では教えてもらえないような少し踏み込んだ医療に関する知識を教えてもらい、さらに医療関係者の職に就きたいという気持ちが強くなった。とても面白いセミナーで楽しかった。
- 縫合やエコーの検査の体験など病院で行われているさまざまな検査や医療を実際にしてみるとという貴重な体験をすることができて良かったです。ありがとうございました。
- 医療職を昔から希望していたので、とても興味深い体験でした。縫合などの体験は実際に先生から教えていただく機会はないのでとても貴重で、高倉先生の言われていたように一生忘れられない体験になったと思います。日曜日にもかかわらず一日中指導してくださった先生方ありがとうございました。
- いろいろな人と交流を深めながら実際に医療の現場について話を聞くことができ、より医療の仕事に興味を持つことができた。
- 多くのことを学びながらも楽しく活動できて、参加できてよかったなと思いました。管理栄養士さんの指導がとても優しく分かりやすく、管理栄養士になりたいという思いがより強くなった時間でした。
- また参加してみたいと思ったし、将来薬剤師になったら福山市民病院で働きたいと思いました！
- 特別な体験ができ、より医療職を目指そうと思いました。ありがとうございました。

大成功のセミナーとなりました。参加された高校生の皆さん、1日お疲れ様でした。
将来医療従事者を志す地域の高校生の皆さん、来年の参加をお待ちしています！

2024年度

地域医療連携のつどいを 開催しました

地域医療連携課 課長 塚村 夕布子



「第11回福山市民病院地域医療連携のつどい」を7月4日(木)に開催いたしました。

昨年は参加者を制限して、感染対策を行いながらの開催でしたが、今年には参加者の制限をなくし、院外から207名の参加をいただき、総勢298名で開催することが出来ました。所用等による欠席のご連絡の際にも「来年は参加できることを楽しみにしています。」との声も頂戴しました。

高倉事業管理者の開会あいさつでは、周産期センター開設に向け、妊娠34週以降の出産取り扱いとプレNICU開設、外来化学療法室の6

床増床、増改築工事の進捗状況などが話されました。

続いて、医療最前線講演として、血液内科の杉浦弘幸医師が「血液内科の現状と造血幹細胞移植について」と題し、着任してから、かかりつけ医の皆さまからの紹介が増えたこと、造血幹細胞移植の開始と移植認定施設を目指す必要性について話されました。地域一丸となり圏域の患者さんを救っていききたいという熱意が伝わってきた講演でした。

次に、医療連携に関する講演を2題行いました。1題目は、産婦人科統括科長早田桂医師の「総合周産期センター設立に向けて」現状と今後の取り組み」と題した講演で、妊婦の死亡リスクは医療技術が向上した現在も横ばいであり、圏域外搬送されている母児をこの地域で助けるために総合周産期センターが必要である



高倉事業管理者あいさつ

と話されました。2題目は、小児科長渡邊宏和医師の、「pre-NICU稼働へ」当院の取り組み」と題した講演で、今後のMFICU・NICU・GCUの整備に向けたロードマップを話されました。妊娠34週～36週の後期早産児の管理ができるよう、NICUホットラインを整備しましたが、当院からお迎えには行けないため、分娩施設から搬送しただけの症例を受け入れることも話されました。

講演後、福山市民医師会の西岡会長から、福山市民病院への期待と士気の上がるあいさつをいただき、乾杯のご発声と共に懇親会が始まりました。会場内は、しばし笑顔と再会の喜びの声に溢れていました。

さらに、池田診療部長から、今年度着任した新任医師を紹介させていただき、出席した11名は一言ずつあいさつしました。その後は話が尽きることなく、あっという間に時間が過ぎましたが、有意義な情報交換の時間となりました。

今後も、「医療機関の先生方や連携担当者の方にとって顔が見え、触れ合いの場になる」とともに、顔が見えなくても連携が図れる病院となるよう努めてまいります。

最後は、室院長のあいさつで、地域の医療機関の皆さまへ、感謝とこれからの当院の抱負が述べられ、閉会となりました。

最後に、ご参加くださいました皆さまに心から感謝いたします。また、開催にあたり、協力いただいたスタッフの皆さまにもお礼申し上げます。



室院長あいさつ



集合写真



お出迎え



歓談風景①



歓談風景②

血液内科の現状と 造血幹細胞移植について

血液内科では、昨年10月からスタッフ2人体制で、新たに診療を開始し、半年で新規入院症例が91例、新規外来症例が90例でした。また、当科の目標は、従来の悪性リンパ腫や多発性骨髄腫などの診療に加えて、急性白血病診療の充実と造血幹細胞移植の開始です。

新体制で行ってきたことの詳細としては、急性白血病の治療に必要なレジメンを導入するとともに、最新の化学療法の積極的な導入を開始しました。また、対象疾患と治療内容

の拡大に対応するため、病棟看護師との入院患者カンファレンスを開始しました。さらに、骨髄バンクの委託業務として、ドナーの確認検査や最終同意を開始しました。

造血幹細胞移植については、クリーンルームの増床や機材の購入していく予定です。将来的には、福山市内で初の移植認定施設を目指して、今後も尽力して参ります。皆さまのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



内科科長
杉浦 弘幸

スタッフ教育とカンファレンス

- 毎週月曜日 川崎医科大学血液内科 副教授 杉原先生と人間形成カンファレンス、病室看護師を加えて骨髄カンファレンス。
- 毎週水曜 後援看護師と入居患者の診療方針についてカンファレンス。

骨髄バンクの調整医師の仕事について

造血幹細胞移植の種類と目的

- 自家移植：大量抗がん剤の後、事前に採取しておいた、自分の造血幹細胞を移植する。多発性骨髄腫や悪性リンパ腫の再発に対して行われる。
- 同種移植：大量抗がん剤の後、事前に採取しておいた、自分以外の人の造血幹細胞を移植する。抗がん剤の作用に加え、移植した細胞ががん細胞を攻撃する効果（移植対白血液：Graft-versus-leukemia, GVL効果）を利用して、腫瘍の効果を高める目的で行われる。おもに急性白血病形成症例に行われる。

総合周産期母子医療センター 設立に向けて ～現状と今後の取り組み～



産婦人科 統括科長
早田 桂

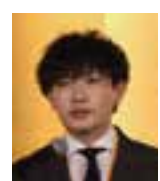
総合周産期母子医療センターは

MFICU(母体胎児集中治療室)、NICU(新生児集中治療室)を備え、リスクの高い妊婦に対する医療及び高度な新生児医療を提供する施設ですが、備後圏域にはなく、現在当院では、その設立に向けた施設整備を行っています。本年度より妊娠34週以降の早産症例の受入れを始め、2026年度の新本館完成時に周産期母子医療センターを開設し、その後地域周産期母子医療センター、最終的に総合周産期母子医療センター

として運用予定です。

また、産科セミオープンシステムも開始しました。普段の妊婦健診は自宅に近い産科医療機関で行い、夜間休日等の急な異常時や妊娠34週以降は、分娩を含めて当院が担います。合併症妊娠や産科救急、妊産婦救命に対応できる施設として、院内の診療科や地域の医療機関の先生方と連携し、備後圏域で完結できる周産期医療体制の実現を目指します。

pre-NICU稼働へ ～当院の取り組み～



小児科 科長
渡邊 宏和

当院における周産期母子医療センター開設に向けた取り組みについてお話しさせていただきます。

現在建設中の新本館の3階に産婦人科病棟、MFICU、NICU、GCUを設置し、周産期母子医療センターとして2026年度中の運用開始を目指しています。そのために、東館4階産婦人科病棟の新生児室でpre-NICUを稼働し、4月より在胎34週以降の早産児の受け入れを開始しました。またNDPAPやPIカテールを導入し、これまで他院へ新生児

搬送を行っていた症例の管理も始めています。当院でのコメディカルスタッフのスキルアップの他にも、福山医療センターや倉敷中央病院のNICUでの看護研修、院内ワーキンググループ、N CPR(新生児蘇生法)講習会、新生児搬送の受入れなどを行っています。

これらの取り組みを通して、まずは地域周産期母子医療センター、将来的には広島県東部医療圏唯一の総合周産期母子医療センターとして、高度で安全な周産期医療を提供するための体制づくりを進めてまいります。

あの人は今

～初期研修医編 Part2～

医療法人 ほそや医院 院長

細谷 武史

る父 細谷正晴が1995年2月1日に開設いたしました。来年開院30周年を迎えます。ここまで続けてこられたのも、当院に通院してくださる患者さんはもちろんのこと、福山市民病院をはじめとする近隣医療機関のご支援ご協力の賜物であると思っております。この場を借りて感謝申し上げます。



スタッフ一同

さて、2007年研修医当時を思い出しますと、福山市民病院入職直前に結婚した妻と二人で福山での新婚生活と研修医生活が同時にスタートいたしました。今の福山市民病院では考えられませんが、当時私の学年は初期研修医がたったの2人でした。その分非常に自由度の高い研修プログラムで、自分がしたいと思った研修はすべて行うことができました。特に救命救急センターでの研修は、重症患者さんの初期対応や入院後の管理、重症熱傷の処置の仕方など、3か月程度の短い期間でありましたが、医師として仕事をしていくうえでの基礎をしっかりと叩き込んでいただきました。

また、精神科と放射線科での研修も非常に興味深いものでありました。精神科では眠剤の種類と使い方、せん妄の対応方法、患者さんとの接し方、話し方を丁寧に教えてくださいました。放射線科では画像の読影はもちろんのこと、自分で読影した結果が正しいかどうか、実際にベットサイドに行って腹部を触診して確かめるといことも経験いたしました。福山市民病院での初期研修があったからこそ、今こうやって曲がりなりに医師として仕事ができていると思っております。

研修医2年目の4月に生まれた長女が今年高校生になりました。福山市民病院での初期研修からそんなに時間が経過したことが信じられません。福山市民病院の地域連携の会で、初期研修時代にお世話になった先生方にお会いできることが、すごく楽しみで毎年参加させていただいております。ご指導いただいた先生方にお会いして初期研修医時代の謙虚でフレッシュな気持ちを思い出し、これからも診療していこうと思います。

岡山県井原市で開業しております医療法人ほそや医院 院長の細谷武史と申します。私は2007年に藤田保健衛生大学医学部(現 藤田医科大学医学部)を卒業し、同年4月より福山市民病院で2年間の初期臨床研修を行いました。ここでは、福山市民病院での初期研修当時に思い出しながら、少し当院を紹介させていただければと思います。



左:院長 細谷武史 右:名誉院長 細谷正晴

2021年4月に私が院長・理事長に就任しまして3年が経過いたしました。現在は私と名誉院長、副院長の南大輔の3名で診療にあたっております。当院の特徴は生後2か月の予防接種デビューの赤ちゃんから、岡山県最高齢の111歳のおばあちゃんまで幅広い年齢の患者さんが来院されることと、内科、小児科、皮膚科を標榜している関係から、疾患も多岐にわたっていることが最大の特徴です。中でも私は糖尿病・内分泌内科が専門であり、副院長は呼吸器内科が専門です。幅広い疾患に対応しつつ、専門性を担保した質の高い医療を提供していくことが当院の役割と考えており、それを維持できるようにこれからも頑張っておりますので、皆さまのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

医療法人
ほそや医院

〒715-0014
岡山県井原市七日市町102
TEL:0866-62-1373



放射線治療について

がん放射線療法看護認定看護師 廣中 亜紀

がん治療の3本柱の1つ、放射線治療。目的はさまざまで、年齢層は幅広く、適応疾患も多岐にわたります。

治療台の上に仰向けで寝ていれば、治療装置が動いて、色々な方向から放射線を照射していきます。放射線は当たっても、痛くもかゆくありません。

放射線治療室は、西館地下1階にあります。地下といっても、待ち合い室には外光が降り注ぎ、明るく開けたところです。(春には桜が見えたりしますが、現在は工事車両ばかり…。)

放射線治療は、医師、診療放射線技師、看護師、ドクターアシスタントなど、多職種が連携し協力し合って、チームで行っています。それぞれの強みを活かし、よりよい治療が提供できることを目指しています。



1. まず…初診

主治医からの紹介で、放射線治療科を受診します。まず、看護師が患者さんと顔を合わせ、簡単なオリエンテーションを行います。ここで大事にしていることは、「患者さんを知る」ということです。カルテから得られる情報もありますが、やはり直接お話ししてみないとわからないことの方が多いです。どのような症状があるのか、どのような思いを抱かれているのか…。

放射線治療を受けるためには、10分程度の体位保持が必要となります。痛みや吐き気などがあれば、対応を検討します。つらい症状を我慢する10分はとても長くしんどいものです。また、安全に治療を受けていただくためにも、症状コントロールを行うことは大切になります。

放射線治療は、5～30回程度、毎日行います。通院で受けられる方が大半です。仕事をしながら、家族の介護をしながらなど、治療との両立を考えている方もおられます。できる限り希望に沿うことができるよう、治療日程の調整を行っています。

2. 次に…準備

放射線治療を受けると決まれば、準備を始めます。準備では、治療体位を決めて、その体位でCTを撮影します。多くの場合、身体にマーカーで印を描きます。この印は治療期間ずっと必要になるので、消えないように気を付けて生活してもらう必要があります。これが少し大変で、夏は汗で消えやすかったり、冬は湯船にゆっくり浸かれなかったり…。治療のためと、皆さん頑張っておられます。

この準備は、今後の治療においてとても重要になります。治療計画を立てる、つまりどのような体位で、どのように放射線を当てるかを決めるということにつながります。治療のシミュレーションではありません。治療に支障ない範囲で、できるだけ無理なく、苦痛が少なく治療を受けられるよう、全力でサポートします。

3. いよいよ…治療開始

準備から1週間程度空けて、治療が始まります。準備の時を再現できるように、治療体位をとります。最初は皆さん緊張されますが、徐々に慣れてきます。私たちは、日々の変化、治療の有害事象などを観察し、必要なケアを提供します。予定されている治療を、できる限り休みなく受けられることが望ましく、その妨げになるものがあれば、解決できるようサポートします。



放射線と聞くと、「怖い」というイメージを抱かれる方もおられると思います。しかし、がん治療において活躍の場は増えており、どんどん進歩しています。私たちは、安全に、安楽に治療が受けられるようチームで力を合わせてサポートしていきます。疑問や不安などありましたら、いつでも相談にお越しください。

『がん相談支援センター』が力になります



当院の正面玄関から入ってすぐ左手にある「がん相談支援センター」は、どこにお住まいでも質の高いがん医療が受けられるように、厚生労働大臣が指定した「がん診療連携拠点病院」等に設置されています。

さらに、当院では、全国でも珍しく、「認定がん専門相談員」の資格をもった、がん看護専門看護師が対応し、がん患者さん・ご家族へより専門的なサポートを提供できる体制を整えております。



認定がん専門相談員とは

国際がん情報サービスグループICISGが示す“Core Values”をはじめとした基本姿勢を遵守し、相談対応に必要な知識や情報の継続的な学習・自己研鑽に励んでいる等の、一定の基準を満たした相談員として、国立がん研究センターが認定した相談員のことです。



社会福祉士も常在し、医師・薬剤師・管理栄養士・公認心理師などの専門医療スタッフと連携をとりながら、ご相談に対応いたします。治療だけでなく、生活全般についての「困った」「どうしよう」等の相談に乗り、解決の糸口を一緒に考えていきます。

がんと診断された、治療選択に悩んでいる、治療との両立や生活上の問題、家族の心配や不安など、がんに関する相談はどんなことでもご相談ください。

話を聞いてほしい
病気のことが知りたい

ウィッグについて
聞きたい

緩和ケア
とは？

食事が
とれなくて
困っている

仕事は
どうすれば？

セカンド
オピニオンについて
知りたい

将来
妊娠・出産を考えている

とにかく不安...

どこに相談して
いいかわからない

支払いが心配

薬の
副作用は？

先生の説明が
よくわからない

患者同士で
話したい

当院の患者さん・ご家族以外も無料で、
何度でもご相談していただけます。
匿名相談や電話相談も可能ですが、
面談中の場合はお待ちいただくことがあります。

「患者サロン」おしゃべり会

がんの治療や療養に関連するテーマについてのミニレクチャー/
がん患者さん・ご家族同士のつながりの支援

開催日 毎月 第4火曜日 14:00~15:00

ハローワーク福山の出張相談・就労支援

ハローワーク福山の職員と、がん看護専門看護師が協働して
当院で就労に関する情報提供・相談を行います。

開催日 毎月 第2木曜日 10:00~15:00

アピアランスケア相談会

ウィッグや補正下着・ストマ・爪のケアなど、がんの治療による
外見の変化に対するケア方法について、日常生活支援の
一環として相談対応を行います。

日程変更になる場合があるため、がん相談支援センター
または当院ホームページにてご確認ください。

日本胎児心臓病学会第31回学術集会 開催準備報告(第3報)

小児科 科長 河津 由紀子
(日本胎児心臓病学会第31回学術集会学会長)

2025年2月22日(土)、23日(日)の『日本胎児心臓病学会第31回学術集会』(広島県民文化センターふくやま)開催まで早くも半年を切りました。プログラム概要が決まりましたので抜粋して紹介いたします。

学会初めての試みです!

◆妊婦ファントム模型によるハンズオンセミナー

第1部: レベル1 ファントムで「始める」
胎児エコースクリーニング(全身(心臓も))
第2部: レベル1.5 ファントムで「教える」
胎児心エコー
メインスタッフである岡山大学産婦人科・大平安希子先生を統括チーフとして企画、開催します。



◆教育セミナー 「見つけたい でも見つからない心疾患 ～TGA、TAPVC～」

生後すぐに状態が悪化する先天性心疾患: 完全大血管転位(TGA)と総肺静脈還流異常(TAPVC)について、解説と症例報告を行いながら、皆で学びます。

◆日本心エコー図学会・日本胎児心臓病学会ジョイントセッション 「胎児から成人までの4D心エコーの臨床応用(仮題)」

日本心エコー図学会とコラボして、最新の4Dエコーについて成人期・小児期・胎児期それぞれの第一人者が会して講演します。

◆シンポジウム 「胎児心エコーとAIのこれから」

胎児心エコーにおいてAI技術をどのように利用していくか、その最先端の研究や取り組みについてのシンポジウムです。

◆シンポジウム 「世界と日本における胎児心臓病学のトピックスと現状を把握する」

国際学会や国内学会での胎児心臓病学の現状や立ち位置を、各学会の代表者に話していただくシンポジウムです。

◆シンポジウム 「日本における胎児心スクリーニングの現状とこれから」

胎児エコースクリーニングの現状や要望について、産科開業医、エコー検査技師、大学産婦人科医ということになった立場からお話しいただき、これからの日本の胎児スクリーニングの発展について考えるシンポジウムです。

◆特別講演 「ピアのささえあい、それは真に生きること」

講師: 梓川一先生
(静岡英和学院大学人間社会学部コミュニティ福祉学科教授)

◆特別講演 「胎児心臓病に関わる遺伝子解析の基礎と臨床(仮題)」

講師: 森崎裕子先生(榊原記念病院臨床遺伝科)

◆特別講演 「カナダと欧米での胎児心臓病学(仮題)」 「カナダでの胎児心スクリーニングの現状(仮題)」

講師: Lisa K. Hornberger 先生(カナダ・アルバータ大学教授)

このように、充実した企画で全国から来られる学会員の皆さまをおもてなしする予定です。この記事を読まれている、日頃は胎児エコーに接しない方々にも是非参加していただき、楽しんでもらいたいと思っています。皆さまのご参加をお待ちしております。

次号で特別講演の詳細などをお伝えいたします。

日本胎児
心臓病学会HP ▶



ホームページ <https://med-gakkai.jp/jsfc31/>

追加のご報告: 「第1回福山胎児超音波研究会開催」のお知らせ

2024年10月26日(日)19:00～21:00

まなびの館ローズコム(福山市生涯学習プラザ)にて開催いたします。事前申し込み制です。詳細はHP(<https://ff-us.jp/>)をご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

福山胎児
超音波研究会HP ▶





福山市民病院の増改築事業における寄附のお願い

当院の**増改築事業**を進めるにあたって、多額の費用を要する見込みであることからご協力いただける方の寄附を受け付けています。

いただいたご寄附につきましては、全額を**増改築事業**に活用させていただきます。

寄附の流れ

- ① 寄附書にご記入いただき、ご持参または郵送にて当院管理課宛に提出してください。
※寄附書は当院のホームページからダウンロード可能です。
- ② 寄附書を受領後、納付書を郵送いたしますので、金融機関にお持ちいただき、ご納付をお願いいたします。
- ③ 寄附の入金確認後、「寄附受納通知書」を送付します。寄附金控除を受ける際の証明書としてご利用ください。

姓	名	〒	番	組	番	町	丁目	番	号
福山市民病院管理課宛									
〒084-0901 福山市蔵王町五丁目23番1号									
氏名									
住所									
〒									
町									
丁目									
番									
号									
金額									
備考									

注意事項

寄附は一口あたり**10,000円**単位でお願いします。寄付金控除を受ける方は、控除を受ける年の12月10日まで(必着)に寄附書を提出してください。その後、当院から送付される納付書を用いて12月中に支払を完了させてください。

寄付金控除について

〈個人からの寄附〉

公立病院である当院への寄附は、その年中の合計が**2,000円**以上となる場合は申告を行うことにより、「所得税」及び「住民税」の寄附金控除を受けることができます。

お問い合わせ先 及び 受付・郵送の宛先

〒721-8511 福山市蔵王町五丁目23番1号
福山市民病院 経営企画部 管理課
電話:084-941-5187
メール:byouin-kanri@city.fukuyama.hiroshima.jp

詳しくは当院の
ホームページをご覧ください。



オープンカンファレンス

2024年度

第3回

周産期医療について～周産期母子医療センター開設に向けて～

日時:2024年6月13日(木)18時～

講演1 総合周産期母子医療センター設立に向けて～現状と今後の取り組み～

講師:当院 産婦人科 統括科長 早田 桂 先生

講演2 pre-NICU稼働へ～当院の取り組み～

講師:当院 小児科 科長 渡邊 宏和 先生

各講演の詳細はp12『地域医療連携のつどい』をご参照ください。

第4回

5ステップで考える院内発熱のアプローチ

講師:当院 内科科長 太田 茂 先生

日時:2024年6月20日(木)18時～

入院中の患者さんが発熱した際に行うべき5つのアプローチについて講演しました。①危険な発熱かどうかの判断、②よく菌血症を引き起こす感染症の把握、③よくある院内感染症の特定、④基礎疾患に関連するものの確認、⑤感染症以外の原因の除外の手順で進めます。急変前には必ず何らかの兆候があり、開眼、視線、顔色、表情、姿勢、呼吸運動の6項目をあえて言語化して確認するようにしましょう。

人間には正常性バイアスと確認バイアスがあるため、「まあ、大丈夫だろう」と想定して患者さんに接するのではなく「急変の変化の兆しは何か？」と頭の中でシミュレーションして仕事に臨みましょう。

参考図書:池上 敬一(著)(2018)「看護学生・若手看護師のための急変させない患者観察テクニック～小さな変化を見逃さない!できる看護師のみかた・考え方」羊土社

今日の内容ー5ステップ

1. 危険な発熱か? 安全第一に考えよう
2. よく菌血症になる感染症
3. よくある院内感染症5つ
4. 基礎疾患に関係したもの
5. 感染症じゃないもの

よくある感染症3つ



肺炎 呼吸不全コース
説明性肺炎を疑うなら前胸部より背部の聴診
左右差が大事
画像で捉え合わせ ガトレニジ

尿路 循環不全コース
膀胱と腎臓
尿尿+尿検査
尿検査

腸道
叩くだけでも違う
科別診断時間 USすれば完璧

病気、病態を想定することが大事



肺炎



SSI



消化器 (CDI)の尿路感染



血流感染



血流感染



DVT・PE



偽痛風



薬剤熱

第5回

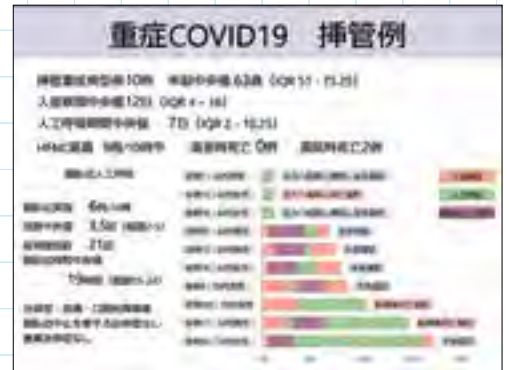
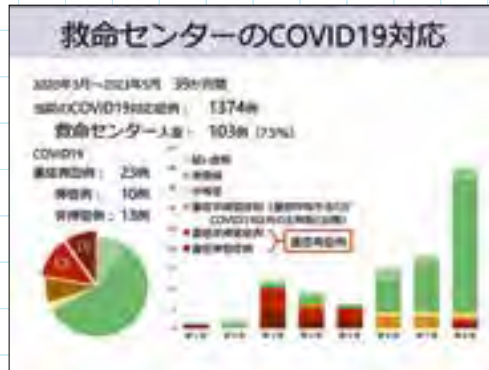
コロナ禍の救命救急センターの活動記録2020年～2023年

日時:2024年7月18日(木)18時～

講演1 講師:当院 救命救急センター 副センター長 柏谷 信博 先生

2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症(COVID-19感染症)は5類感染症へ移行しました。この間の救命救急センターの活動について振り返りました。

コロナ禍の39ヶ月の期間中に病院全体では1,374例のCOVID19対応症例が入院し、救命救急センターでは103例(全体の7.5%)の症例が入室しました。そのうち典型的な重症COVID19感染症症例は23例であり10例に気管挿管による人工呼吸器管理を実施しました。うち3例はECMO導入目的に広島大学病院へ転院となりました。重症の非挿管症例13例は非常に短期間の入室となっていました。感染症病棟が積極的に人工呼吸器管理を要さない症例の診療を実施して下さった結果だと考えられ、救命救急センターは最重症の症例に注力する事ができました。病院全体から救急医療への理解と協力をいただいた結果、期間中に三次救急症例の受け入れ制限を行うことなくホットラインの応需率の低下も阻止できました。



講演2 講師:当院 ICU・CCU看護師長 中村 道明 先生

福山・府中医療圏の中で当院救命救急センターは、既存の重症かつ救急患者を受けつつ、重症COVID-19肺炎患者を受け入れる唯一の施設でした。

この責務を果たすために、さまざまな他職種連携や対策を行いました。人工呼吸器患者の腹臥位療法の実施にあたっては、医師の助言の元、看護師、理学療法士などが緊密に連携し、安全に体位変換を行いました。長時間の腹臥位を維持するためのクッションの準備も行い、褥瘡等のリスクを最小限に抑える工夫を検討しました。救急外来からICU病棟や手術室等までの導線の工夫や、広域搬送時の対応など「救命救急センターCOVID-19マニュアル」は9回の改訂を行いました。

また、聴診を最小限にとどめたり、電子カルテ(ノートPC)やクーリング用の冷凍庫、医療者が使用する椅子などを隔離エリア内に設置しました。医療者の心身の負担を最小限にする工夫を行うことで、体制を維持し続けることができました。

感染伝播の防止

予想外の感染爆発を避けるため対策や意識変容を積極的に行った

救急外来
 シーシールド ユニバーサルマスク着用
 患者の事前の検温実施

センター病棟
 シーシールドの活用と検温、患者の検温実施

感染の蔓延抑制は発生した
 職員への感染はゼロ

業務負担軽減の努力

感染対策は通常業務に加え手間が増える

積極的な業務負担軽減に向けた

- 無駄な作業を省く
- 業務に特化したノートPC
- 業務に特化した椅子
- 業務に特化したクーリング用冷凍庫
- 業務に特化した椅子
- 業務に特化した椅子
- 業務に特化した椅子
- 業務に特化した椅子

業務負担軽減のための工夫

他部署・他職種連携

- リハビリテーション科
- 理学療法士
- 看護師
- 医師
- 薬剤師
- 検査科
- 放射線科
- 病棟管理部門

連携による業務負担軽減

歯

っと思ったこと

「歯ブラシ・補助用具の選択方法について」

今回は患者さんからよくいただく歯ブラシ・デンタルフロス・歯間ブラシ・タフトブラシに関する、質問について、回答・解説をしていきます。

② 歯ブラシの毛先がギザギザしているのと、フラットのものがあるけどどちらがいいの？

● 歯茎に炎症のある方や、毛先が当たると痛みが出やすい方には、「テーパード毛(図1)」をお勧めすることもあります。基本的には歯垢除去効果の高い「ラウンド毛(図2)」をお勧めしています。

テーパード毛は毛先がしなやかで断面が小さいため、細かい部分に到達しやすい一方、歯垢除去率が低下することに注意が必要です。



図1

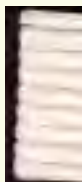


図2

③ デンタルフロスもいくつか種類があるけど、口の状態に合った使い分けを教えてください。

● デンタルフロスの糸の種類には、糸の線維がワックスでコーティングされている「ワックスタイプ」と、されていない「アンワックスタイプ」があります。

ワックスがついていると歯面との摩擦抵抗が下がるため歯間に挿入しやすく、デンタルフロスをはじめて使われる方や修復物が多い方には、ワックスタイプがオススメです。

しかし上記の場合を除き、基本的には歯垢除去率の高さを重視すると、アンワックスタイプがオススメです。

ワックスタイプの中でも、「エクスパンダタイプ」は、唾液や摩擦によって糸が膨らんで太くなるので、歯垢除去率がさらに高くなります。ただし、糸が太いことで、歯間が狭いところや歯列不正があるところには挿入が難しい場合があります。

④ 歯間ブラシって、ブラシの素材や持ち手のタイプによっていろいろな種類があるけど、どれを選べばいいの？

● まず、歯間ブラシのブラシの素材には、針金にブラシがついている「針金タイプ」と、ブラシがゴムでできた「ゴムタイプ」のがあります。

針金タイプは歯垢除去率が高く、水洗することで1〜2週間繰り返し使うことができます。ゴムタイプは挿入時の不快感が少ない一方、歯垢除去率が低く、劣化も早く短期間での交換が必要になります。ゴムタイプは、針金の感覚がどうしても苦手な方や、はじめて歯間ブラシを使う方向けと考えます。

⑤ 歯間ブラシの持ち手については、真っすぐのものとか曲がったものがあるけど、なにか違いがあるの？

● 歯間ブラシのハンドルについては、おもに「I字型(図3)」と「L字型(図4)」があります。I字型は柄とブラシが一直線のため前歯部に使いやすさといわれていますが、L字型は持ち手が長めで持ちやすく、臼歯部でも容易に使用できるので、はじめて使う方や操作が苦手な方によいでしょう。



図4



図3

⑥ タフトブラシってどこに使うもの？

● タフトブラシによる清掃が有効な部位は、歯列不正があるところ・一番奥歯の後ろの面・矯正装置の周り・生えかけの歯・前歯の裏側・ブリッジの下・奥歯の噛む面の溝などがあります。このような箇所は歯ブラシだけでは毛先が届きにくく、どうしても磨き残しが出やすいため、タフトブラシの併用をお勧めしています。



上記を参考にさせていただき、日々の歯磨き習慣に生かしていただけたらと思います。



◀ 歯科口腔外科 HP



小児科ミニコラム *Mini Column*



福山市民病院 小児科 科長 みたに おさむ 三谷 納



vol.13

「てんかん」の治療 総論

～治療の最大の目的は生活を豊かに過ごすためのツール～

今まで、「てんかん」や「てんかん発作」の分類や診断についてお話してきましたが、今回から皆さんも気になるであろう治療について何回かに分けてお話していきます。

1 「てんかん」はそもそも治るのか？

患者さんやご家族からも「てんかん」の診断をした際に多く受ける質問の一つです。

いつになれば治るんだろう？いつまで治療をするのだろう？…と疑問に思われることも少なくないと思います。

実は、「てんかん」には『治る』という概念はありません。えっ！じゃあ不治の病ってこと…？と思われるかもしれませんが、そうではなく、厳密には違います。

『治る』という概念はありませんが、その代わり『消失』と表現されます。具体的には過去10年間にわたり無発作状態が持続しており、過去5年間抗てんかん発作薬を服用していない場合に『消失』したとみなします。

ややこしいので私はよく火山(てんかん発作源)と噴火(てんかん発作)で例えて外来ではお話していますが、富士山のように実は火山としては活火山(10,000年以内に噴火

歴があると活火山と表現するそうです)だが、ここ何百年と噴火していないので当面の間は噴火はする確率は極めて少ないでしょう、という意味に近いです(逆にややこしかったらすいません汗)

小児期発症のてんかん症候群の一部には「自然終息性」といって思春期前後になると、内服していなくても発作を起こさない状態に終息していくものもありますが、こちらもてんかんが『消失』した状態と表現されます。



2 何をターゲットに加療をするのか？

では、何のために治療(加療)を行うのでしょうか？当然、てんかん発作コントロール良好の状態を目指しますが、先ほど言ったように、「治す」という概念がない以上、「治す」ということが最大の目的ではありません。もちろん上記の「消失」も含めた、てんかん発作の抑制もターゲットの一つではありますが、その状態を目指しますが、最大の目的ではなかつたりします。では治療介入の最大の目的は何か？それは『日常生活を最大限豊かに送るための手助けのツール』であると私は考えています。また、患者さんやご家族にも治療を始める前にこのようにお話しさせていただいています。

日常生活の豊かさとはいうものの、その基準というものは人それぞれ違います。

例えば、多くのでんかん発作そのものが命に影響するということはまれですが、発作の度合いが重かつたり、回数が多かつたりすると、脳がダメージを受けてしまい認知面や発達面に影響がでたり、頭部や体をケガする場合もあります。このような場合には、身体へのダメージを少なくするという目的で加療が望ましくなるでしょう。

一方、ケガやダメージを伴いにくいようなタイプであっても、発作がいつ起きるのかわからない…との不安から外出や登校・出勤ができなくなることもあるかもしれません。そのような場合には、発作をコントロールすることで外出しやすくなり、生活の質が高まるかもしれません。そして、**発作だけでなく、併存症や副作用などへ目を向けることも大事**です。

てんかん発作をコントロールするばかりに目がいってしまい、どんどん薬の量を増やしたり、別の薬を追加したりして副作用の一つの眠気が強く出てしまい、日中眠ってばかりいるようでは患者さんらしさも失われる

でしょうし、学校生活や日常生活が送れない場合だってあるかもしれません。

併存症によっては相互作用などで使いにくい薬もあります。てんかん発作のコントロールに対しては有効かもしれないが、併存症の症状を増強するようでは生活を豊かに送ることができません。また、**ライフステージにそった薬の選択が必要になる**こともあります。

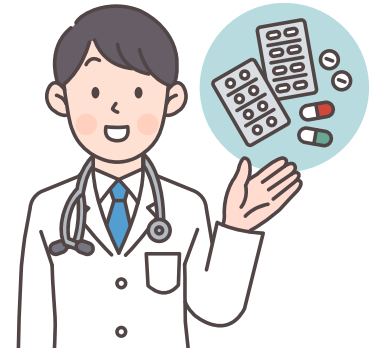
例えば、妊娠可能女性年齢には児への影響を考慮して、まず第一選択としては避けた方が望ましい薬もガイドライン上には記載されています。ただ別のコラムでも書きますが、**薬には相性があります**。選択していた薬では発作コントロールがうまくいかず、生活へ影響が出てしまうことも残念ながらありえます。そのような場合には、十分に説明を行い同意を得たうえで、上記のような薬を選択するというのも臨床現場では大いにあります。

つまり**加療の対象はてんかん発作のみではなく、合併する併存症や、社会的な問題にまで目を向けなくてははいけません**。そういった意味でもてんかんの加療は、生活を豊かに送るためのツールであるべき、なのです！



てんかんやてんかん発作といっても今までのコラムでお話ししてきたようにさまざまです。人間一人ひとり、同じ血が通っている兄弟姉妹さえも顔や性格が違うように、てんかんやてんかん発作の種類や頻度もさまざまですし、薬の相性も違ったりします。また併存症や併存症の度合いも違います。小児や成人でも治療方針は変わり得ます。私たち専門医は一人ひとりに向き合いながら、何を生活の質

の向上や維持の目標にしていくのかをライフステージに沿いながら考え、薬や治療の選択をしていくわけです。



いかがでしたでしょうか？次回からは具体的にどんな治療があるのかについてお話していきます。

追記

先日、東京の知り合いから連絡があり『1週間後の〇〇日空けておいて！しまなみ海道サイクリング行こう！△時に納(私の家の前に集合ね、よろしく』とこちらの予定も構わないお誘い(笑)をいただきました。私は松永出身ですので、比較的小さい頃から尾道や、しまなみ海道沿いの島に行く事は多かったのですが、サイクリングはしたことありませんでした。

朝早く出発し、尾道駅近くの駐車場に車を止めてレンタサイクルを行いました。知り合いときたら、2週間前から予定を立てているにもかかわらず、自転車の予約をしていませんでしたので残っている自転車は限られており、私は中高生用くらいのサイズ？の小さめの自転車に乗ることになってしまいました。羞恥心から逃れるように小さいペダルを速く漕ぎ、向島→因島→生口島と御朱印をいただきながら回りました。

これから大三島に向かおうと思っていた時に、知り合いが『今日の18時30分の新幹線予約したから、これから東京に帰る』と急に言い始めましたので生口島(瀬戸田)でサイクリングは終了し、フェリーで尾道港まで戻ることとなりました。

そして尾道港について時間もギリギリなのに、『尾道ラーメンが食べたい』というので急いで店に入り、食した後急いで福山駅まで知り合いを送りました…。新幹線出発5分前の到着でした汗

なんとまあ、知り合いに何度振り回されたかわかりませんが、素晴らしい夏休み&経験でした。今度はぜひ今治まで行ってみたいです。※知り合いとは、数十年來のメチャクチャ親友です。



第3回

新生児医療について

皆さまこんにちは、岡山大学小児急性疾患学講座に所属している鷲尾と申します。2020年に現職に就任してから現在まで、福山市民病院への周産期センターの設置を目指して広島県、福山市と連携を取りながら福山市民病院で活動させていただいております。

現在、岡山大学から渡邊宏和医師が派遣され、2026年に予定されているNICU設置に向けての準備を進めています。今年度から、NICUの診療体制を整えるための準備としてpre-NICUを福山市民病院内に立ち上げました。早産児や疾病を持つ新生児の入院を診療しつつ、NICU開設時の診療体制を構築すべく励んでおります。

今回は新生児仮死についてお話しさせていただきました。今回はNICUに実際入院すると、どのような入院生活を送るのかについて、イメージとして掴むためのツールを紹介させていただきます。

NICUは新生児集中治療室(neonatal intensive care unit)の略で、早産等で小さく生まれた赤ちゃんや呼吸がうまくいかない赤ちゃん、仮死状態で生まれた赤ちゃんや、先天的な疾患を持って生まれた赤ちゃんが入院します。

こうした重症な赤ちゃんは必要時には気道にチューブを挿入して人工呼吸管理を行ったり、心電図や呼吸数、血中酸素飽和度(SpO₂)などのモニターを装着して全身の状態を把握したり、中心静脈といって、体の中心部まで届く点滴ラインを確保してさまざまな薬剤の投与を行ったりして、家に帰ってご家族と過ごせるようになるまで医師や看護師が24時間体制で治療・看護にあたります。

NICUは赤ちゃんにとって可能な限り、快適に過ごせる空間とする必要があるため、光刺激の少ない間接照明を取り入れたり、音が小さい環境を作ったりとさまざまな工夫がなされています。

また、赤ちゃんは感染症に弱く、感染症対策が重要ですので、NICU内には手洗いのための洗面台が多く設置されており、アルコールが至る所に設置されています。特に、小さく生まれた赤ちゃんを感染から守るため、加えて体温を維持するために『クベウス』という箱型の保育器に入って一定期間過ごすことがあります。



岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科
小児急性疾患学講座
教授 鷲尾 洋介

2002年 岡山大学医学部卒、岡山大学医学部附属病院、高知県立中央病院、日本鋼管福山病院、岡山大学医学部附属病院、東京女子医科大学医学部附属病院、同病院助教、岡山大学医学部附属病院助教、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 小児急性疾患学講座准教授を経て2023年より現職。医学博士、日本小児科学会専門医・指導医、日本周産期新生児医学会専門医・指導医、新生児蘇生法インストラクター、岡山県災害時小児周産期リエゾン



アプリ_HP



入院中は、重症な赤ちゃんでもNICU内でご家族が面会することは可能です。カンガルーケアといって、お母さん、お父さんに抱っこをしていただくこともあります。直接抱っこしていただくことは赤ちゃんにとってもすごく大切な時間になります。

集中治療を行なった後に状態が安定した赤ちゃんは、GCU(新生児回復室)に移動して退院のための準備を進めていく形になります。

重症な赤ちゃんの中には栄養の注入や酸素投与、人工呼吸管理などさまざまな医療的ケアを自宅に持って帰らないといけなくなる方が一定数存在します。どのような形でお家に帰ることになるとしても、赤ちゃんのご家族が安心して過ごせる環境を整えるためにNICUのある病院だけではなく、地域の保健師さん、訪問診療、訪問看護、相談支援専門員などと他職種が連携して退院に向けて進んでいくことが重要となります。

言葉で説明してもなかなかイメージが掴みにくいと思いますので、今回はNICUのイメージを掴むために最適なツールを紹介させていただきます。下記パンフレットの”はじめてのNICU”というアプリは信州大学の三代澤幸秀先生が開発されたアプリ形式のアクティブラーニング教材になります(QRコードからダウンロード可能)。僕自身も、また僕の家族もプレイしましたが、NICUを全く知らない人間でもNICUがどのような場所か、どういう医療が行われているのか、イメージを掴むことができます。無料かつ、プレイ時間は30分程度となっていますので気軽に取り組みます。NICUの中を探索しながら楽しく学べるアプリです。

これからNICUで働く可能性のある看護師さんや研修医の先生、看護学生や医学生の方々、そして、市民の皆さまにもわかりやすい内容となっていますので、NICUとはどのような病室なのか知るために、是非遊びながら学んでいただければと考え紹介させていただきます。

9月に入り新人看護職員は、夜勤業務にも少しずつ慣れ、日々前進しています。

この時期くらいから「個人差」が現れてきます。仕事を覚えるスピードは人それぞれですし、違いがあっても当たり前です。最初は差が出たと焦るかもしれませんが、その差は次第に縮まり、できることも変わらなくなってきます。他の人との差を気にする必要はないのです。

もし、「同期なのに差があるな」と感じた時は、「人それぞれだからしょうがない」と思いつつ、何が違うのか分析してみることも自分のステップアップに繋がると思います。

また、知識をつけるのであれば、一気に勉強するのではなく、1日何分と決めてコツコツ勉強していく方が習慣化され、知識が身につくスピードも早くなります。



看護部 研修担当師長 山口 起代美

リーダーシップ研修 ラダーレベル1

研修目的は「固定チームナーシングにおけるメンバーシップが理解できる」です。

グループワークでは、紙飛行機作りを通してメンバーとしてどのように参加したのか、メンバーの役割に沿って、お互いの意見を尊重しながら協力して進めることができるかがポイントになります。

研修後は、「メンバーとして自らも意見を発信することでより良い方向へ近づくことが学べた」「意識してコミュニケーションを取ることがチームとして活動するために必要だとわかった」「チームで協力することの大切さを学んだ」などの感想が聞かれました。

この研修を振り返りながらクリニカルラダーレベル1の「チームメンバーとしての役割が理解できる」という到達目標に向かって、これからも前進していきます。



リーフナースフォローアップ研修



リーフナースとは、経験年数4年目以上の看護師で、新人看護職員に対し知識・技術の指導を主に行い、かつ精神的支援も行います。基準・手順・OJTに基づき、新人看護職員の成長段階に合わせて指導を行います。

目的

『リーフナースが新人看護職員との関わりを振り返り、今後の行動計画を考える』

目標

- ①行ったことを共有し互いに承認する
- ②9月から12月までの育成の目標を知る
- ③具体的な関わり方を知る・考える

この研修では、リーフナース同士で承認のスキルを用いて、できたことを認め合う振り返りを行いました。認める視点を持つことで、指導される側も指導する側もやる気と意欲が増し、お互いのモチベーションアップに繋がります。

専門領域研修「RRT育成プログラム研修」

看護部教育委員会では「専門領域研修」を行っています。「専門領域研修」では、各自の関心に応じた知識や技術の習得をサポートするために、各認定看護師が講師となりさまざまなテーマの研修を開催しています。

今回は、7月に行われた、RRT育成プログラム研修をご紹介します。

目的

『病棟よりRRTコールができるコアとなる人材の育成を行う』

RRT (Rapid Response team) は、院内急変対応システム RRS (Rapid Response System) に基づいて、患者さんの急変に対応する専門チームです。院内の予期せぬ心肺停止の前兆を早期に認識して介入することで、不測の心肺停止を減少させ、患者さんにより安心・安全な医療の提供を目指しています。

目標

- ①RRSは急変となる前の予兆段階で要請されるシステムであることを理解できる
- ②RRSは看護師が中心で稼働するシステムであることを理解できる
- ③ABCDの評価方法ができる

この研修は、1日かけて酸素循環と異常の発見、第一印象シミュレーション、ABCD+E評価訓練、現場での円滑なコミュニケーション、院内で起きた症例、ラダーに沿った症例、呼吸回数測定の意味、RRTスクリーニング表などの講義が行われました。

専門領域研修 (レベルI-2&E)

研修名	開催日	ねらい	研修内容	講師
急変対応の基礎	11/12	急変対応の重要性、迅速な対応・ケアの重要性、RRTの役割の重要性を認識し、急変対応の重要性を認識する	＜第1回＞ 急変対応の重要性、RRTの役割 ＜第2回＞ RRTの役割の重要性、RRTの役割の重要性を認識する	認定看護師 佐藤 美穂
がん患者の急変対応	12/20 1:00 2:10	がん患者の急変対応の重要性、RRTの役割の重要性を認識し、急変対応の重要性を認識する	＜第1回＞ がん患者の急変対応の重要性、RRTの役割の重要性を認識する ＜第2回＞ がん患者の急変対応の重要性、RRTの役割の重要性を認識する	認定看護師 佐藤 美穂
心臓の急変	12/23 1:00	心臓の急変の重要性、RRTの役割の重要性を認識し、急変対応の重要性を認識する	＜第1回＞ 心臓の急変の重要性、RRTの役割の重要性を認識する ＜第2回＞ 心臓の急変の重要性、RRTの役割の重要性を認識する	認定看護師 佐藤 美穂
脳卒中の急変	8/26 9:20 10:15 11:25	脳卒中の急変の重要性、RRTの役割の重要性を認識し、急変対応の重要性を認識する	＜第1回＞ 脳卒中の急変の重要性、RRTの役割の重要性を認識する ＜第2回＞ 脳卒中の急変の重要性、RRTの役割の重要性を認識する	認定看護師 佐藤 美穂
呼吸器の急変	7/24 8:21 12:4	呼吸器の急変の重要性、RRTの役割の重要性を認識し、急変対応の重要性を認識する	＜第1回＞ 呼吸器の急変の重要性、RRTの役割の重要性を認識する ＜第2回＞ 呼吸器の急変の重要性、RRTの役割の重要性を認識する	認定看護師 佐藤 美穂
がん患者・急変対応	7/26 8:21 12:4	がん患者の急変対応の重要性、RRTの役割の重要性を認識し、急変対応の重要性を認識する	＜第1回＞ がん患者の急変対応の重要性、RRTの役割の重要性を認識する ＜第2回＞ がん患者の急変対応の重要性、RRTの役割の重要性を認識する	認定看護師 佐藤 美穂



研修後は、「研修内容を活かして、日々のアセスメントを丁寧に行い、異常に気付けるようになりたいと思った」「患者さんを診ていく視点が少し変わりました」「何か違和感を感じたときには迷わず相談しようと思う」「RRTに電話連絡する際や、医師への報告の仕方を意識して変えていこうと思った」などの感想が聞かれました。

RRTを要請した理由としてもっとも多いのは、「看護師がおかしいと思ったとき」で、「呼吸状態の変化」や「精神状態の変化」など具体的な症状が認められる前段階でした。このことから、看護師が感じる「何かおかしい」は急変対応に関していかに大切かがわかります。

医療の現場で「避けることのできる死」を減らすために、看護師が迷わずRRTに報告できるよう、また早期対応の重要性への理解を深めるためにも必要な研修です。

院内保育施設

ひまわりから

七夕会

みんなの願い事も笹の葉に飾られ、風に揺られて気持ちよさそうに揺れています。保育園では七夕会をしました。スケッチブックシアターで「おほしさま、みつけた!」の話を聞いた後、子どもたちも一緒にお星さまを見つけに行き、探した星を集めて天の川を作りましたよ。

ペタッ
ここに貼ることに決めた!



真剣な表情で星を貼って
天の川を作っています



じやんじやじやーん!

お星さまで遊ぼう



顔と同じくらいのお星さまを見つけたよ☆



がっこいいでしょ☆

上からいっぱいお星さまが降ってきた☆



星拾いを
楽しんでいます



七夕ゼリーの盛り付けと実食

きれいな水色のゼリーを
おいしそうに食べています



真剣に盛り付けてるの♡
食べるの楽しみだね~

これが牛乳とよく合うんだよね!



新任医師紹介

■整形外科 黒田 紘典

[趣味] 旅行 [座右の銘] 千里の道も一歩から

[自己紹介] 東京都の多摩総合医療センターという病院から研修に来た黒田と申します。12月末までの5か月間お世話になります。短い間ではありますがよろしくお願いいたします。



■耳鼻咽喉・頭頸部外科 森脇 悠利

[趣味] 音楽 [座右の銘] 継続は力なり

[自己紹介] 8月より勤務させていただくことになりました森脇悠利と申します。私は香川大学を卒業後、香川県立中央病院にて初期研修を修了し、現在は耳鼻咽喉・頭頸部外科の専攻医3年目として研修を続けております。福山は初めての土地であり、わからないことも多くあるかと存じますが、耳鼻科医として地域及び病院に貢献できるよう、日々尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。



■麻酔科 大村 浩之

[趣味] YouTube鑑賞、ゴルフ [座右の銘] なんとかなる

[自己紹介] 7月から麻酔科に赴任いたしました大村浩之と申します。当院で初期研修と後期研修の5年間を過ごしたのち、岡山大学病院と岩国医療センターでの勤務を経て、4年とちょっとぶりに帰ってまいりました。改めて福山の医療に貢献できるよう精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。



第70回日本呼吸器学会中国・四国地方会で 後期研修医セッション優秀演題賞を受賞しました!

内科 専攻医 辻 涼子

2024年7月19日に鳥取県米子市で行われた第70回日本呼吸器学会中国・四国地方会で「喀痰検体でEGFR遺伝子変異陽性肺腺癌と診断し得た一例」について発表し、後期研修医セッション優秀演題賞を受賞しました。高田先生を始めとする呼吸器の先生にご指導いただき、このような賞を受賞することができました。また、臨床検査科次長の秀坂さんには、実際の検査時から今回の症例発表に至るまで、病理検査についてたくさんのアドバイスをいただきまして、ありがとうございました。

肺癌の診断は何らかの方法で病変から細胞や組織を採取し、病理検査を行うことで確定診断します。また、近年は遺伝子変異に対する分子標的治療の進歩が著しく、適切な治療を行うためには遺伝子変異の検索がとても重要です。当院では肺癌診断のための気管支鏡検査を行う際に、病理検査の技師さんにご協力いただき、その場でがん細胞が採取できているか確認しながら検査を行う取り組みをしております。また、どのような検体が遺伝子変異の診断に結びつくかなど、議論を重ねています。本症例は、気管支鏡検査などで組織を採取することは困難でしたが、病理診断科との連携の結果、喀痰検体から肺癌と診断し、さらに遺伝子変異も検索でき、治療に結びつけることができました。

今後さらに研鑽に励むとともに、他職種の方と連携しながら、患者さんにとってより良い診療を行っていきけるよう努力を重ねていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



第79回日本消化器外科学会総会で優秀演題賞を受賞しました！

初期臨床研修医2年 土井 廉太郎



この度、2024年7月17日～19日に山口県下関市で開催された第79回日本消化器外科学会総会において、「Sweet病と顕微鏡的多発血管炎を合併し周術期管理に難渋した直腸癌の一例」について症例報告を行い、優秀演題賞を受賞しました。本症例は直腸癌に非常に稀な疾患が併存した病態であり、その複雑な治療経過をまとめるのに苦労しましたが、指導医の石川先生をはじめとする外科の先生方にご指導いただき、他科の先生方にもお力添えいただき、このような素晴らしい賞を受賞することができました。

私自身、今回が初めての学会発表であり緊張もありましたが、全国学会という大舞台で成果を上げることができ、自信につながりました。また、現地でさまざまなセッションを聴講することで自分のモチベーションアップにもつながりました。残すところあと半年となった私の初期研修ですが、今回の経験を糧にして日々の診療、そして学術活動に、より一層邁進していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



本館1F皮膚科外来

皮膚科外来 『季節の飾り』のご紹介

当院の皮膚科外来には、季節に合わせた飾り付けをしています。職員のご家族の手作りです。8月は金魚や風鈴、スイカ、セミなど夏を感じる涼しげな装飾、9月は赤とんぼや十五夜など秋の気配や自然が感じられる装飾となっています。まだまだ暑い日が続きますが、少しでも患者さんの癒しになったらと思います。



研修医日記

自由なテーマで初期臨床研修中の先生達がりレー形式で執筆し、ホームページに掲載しています。



福山市民病院外来診療担当表

最新の外来診療担当表を掲載しています。こちらからご覧ください。



管理者室より

当院病院事業管理者 高倉範尚先生からのメッセージを月に1回程度更新しています。





ホスピス緩和ケア週間のお知らせ



2024年10月6日(日)～10月12日(土)



「ホスピス緩和ケア週間」は、WHPCA (worldwide hospice palliative care alliance) が展開する世界的な緩和ケア普及啓発イベントである「世界ホスピス緩和ケアデー」(毎年10月の第2土曜日)の一環で日本独自の取り組みとして行われているものです。

世界ホスピス緩和ケアデー(10月12日)



ホスピス緩和ケアを必要とするすべての人へ

テーマ「Ten Years Since the Resolution: How are we doing?」

「緩和ケア」とは

がんと診断された初期の段階から治療と並行して行う身体的・精神的な苦痛を和らげるためのケアです。患者さん・ご家族の生活の質(クオリティ オブ ライフ: QOL)の維持向上を目標に、ボランティアを含む医師・看護師・リハビリ等の多職種がチームを組んでケアを提供していきます。がんで悩むあなたやあなたの大切な方に寄り添い、自分らしい生活を送れるよう支援していきます。

期間中の緩和ケアやACPの普及・啓発活動への取り組み



- ・正面玄関入口・外来ブースにてポスター掲示やパンフレット展示を行います
- ・もしもの時に備えてACPについて考えてみませんか?

「ACP: アドバンス・ケア・プランニング」とは

人はそれぞれ人生観や思いに基づく人生設計をもって将来の事を考えています。それは医療についても同じことが言えます。これから受ける医療やケアについてあなたの考えを家族や医療者と話し合っ、「私の心づもり」として文章に残す事でああなたの希望や思いが医療やケアに反映されるでしょう。その手順をアドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning : ACP)と呼んでいます。これからの豊かな人生を目指して一緒に考えてみましょう。

(広島県地域保健対策協議会作成 ACPの手引き「豊かな人生と共に」より)

緩和ケア病棟について詳しくは
病院ホームページをご覧ください。



2024年10月から

医療費連帯保証人代行制度を導入します。

当院では、入院時に必要な保証人をお願いできる人がいないという問題を解決し、安心してご入院いただくため、2024年10月から医療費連帯保証人代行制度を導入します。導入により、入院時における連帯保証人の準備が不要になります。(保証サービス業者が連帯保証人になります)

医療費連帯保証人代行制度とは

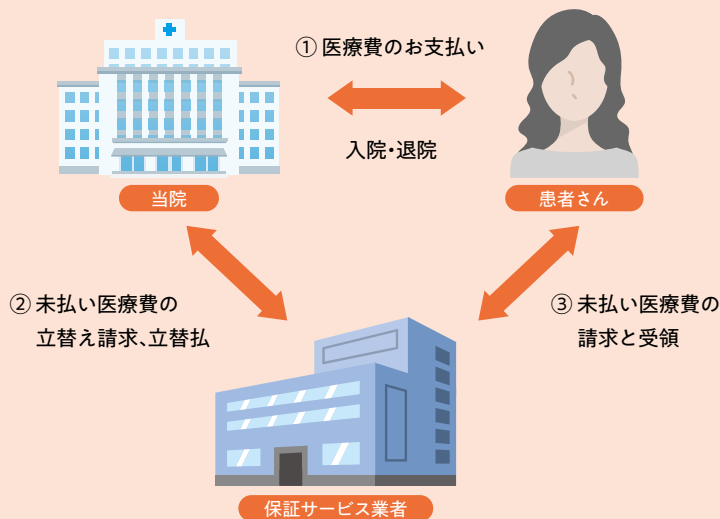
患者さんの連帯保証人を保証サービス業者が代行するため、連帯保証人を準備する必要がなくなります。制度利用にあたり、患者さんの負担はありません。万が一医療費のお支払いが困難になった場合、保証サービス業者が当院に医療費の立替払を行います。保証サービス業者が立替払を行った場合、患者さん・ご家族は保証サービス業者に対して医療費をお支払いいただくことになります。

保証範囲

- ◆ 入院費用のうち診療報酬の自己負担分
- ◆ 入院費用実費負担分(差額ベッド代、食費、おむつ代等)
- ◆ 入院中の歯科外来診療報酬の自己負担分

ご利用の流れ

- 1 「入院申込書兼保証書」の裏面の「個人情報の取扱に関する同意書」をお読みいただき、同意をいただきます。退院時に患者さんより当院へ医療費をお支払いいただきます。
- 2 一定期間を超えて、お支払いがない場合、保証サービス業者が当院へ医療費の立替払を行います。
- 3 保証サービス業者が立替払を行った場合、患者さんから保証サービス業者に対して医療費をお支払いいただきます。



交通のアクセス

● 山陽自動車道福山東インターより車で2分
「東城・府中」方面へ進んでください
国道182号線に出られたらすぐ右折レーンにお入りください
(「福山市街」方面からは右折が困難です)

● JR福山駅より
車で15分 バスで20分
福山駅前 2・8 番乗場
↓
福山市民病院下車

※ 広報誌「ばら」に対するご意見をお寄せください。

福山市民病院 〒721-8511 広島県福山市蔵王町5丁目23-1
電話 (084)941-5151 FAX (084)941-5159
ホームページ ● <https://www.fc-hosp.jp/>
電子メール ● shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。